

## 番組審議会

### 第6回 BS よしもと番組審議会

■開催年月日 : 2023年 4月20日(木)

■開催場所 : BS よしもと株式会社 会議室

■出席した委員(敬称略)7名全員出席 \*あいうえお順

大原鶴美 (プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー)

川上和久 (麗澤大学教授)

久保博 (一般財団法人 日本スポーツ推進機構(NSPO)理事)

品田英明 (元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長)

清水義次 (建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役) \*リモート参加

竹中ナミ(ナミねえ) (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長) \*リモート参加

山田秀雄 (山田・尾崎法律事務所 弁護士)

#### ■議題

1. 開会の辞 (審議委員長)
2. 開会の挨拶 (稲垣社長)
3. 編成関連の報告(4月改編の説明/番組種別、比率)
4. 「放送番組の編集の基準」改訂について
5. 視聴者からの反応の共有(コールセンターレポートより)
6. 番組審議 対象番組「走れ!こすっちょ」
  - ① #41 総集編 (番組開始~2022年振り返り) 2022年12月27日放送
  - ② #42 総集編 (爆食スペシャル ) 2023年1月10日放送
7. 閉会の挨拶 (泉副社長)
8. 事務局からの連絡事項
9. 閉会の辞 (審議委員長)

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣より、3月21日に開局1周年を迎え、民放連の加入承認を得て準会員となり、これに伴いBPOの審査対応局となったことが報告され、審議会をスタートした。

#### ■編成関連の報告

1. 編成関連の報告として、以下2項目を説明
    - ①取締役兼編成制作局長より、4月改編の内容について以下報告し、全審議委員に理解された。
- 4月は、大きな改編は行わず以下2番組の放送を開始。

- ・「ノブコブ吉村のラブヶ原」：若者層をターゲットにしたスポンサー提供番組
- ・「ロンブー亮の釣りならまかせろ！」（テレビ埼玉制作番組）：地方局でしか視聴できない番組を全国展開し、地方創生に貢献する番組として編成。

②編成制作局 編成運行担当より、番組種別ごとの放送時間・比率についての報告を行い、各審議委員に理解された。

審議委員からは、以下の質問があり、回答され理解された。

- ・「チーキーズ a GoGo！」の状況について

『1番組1起業』のテーマに沿った番組として、埼玉県、島根県にて会社起業を実現することができたこと、山形県住みます芸人の活躍を紹介する『住みます！やります！頑張ります！』コーナーがドキュメンタリー映画化され、沖縄映画祭での上映に至ったことが、実績として副社長、金田取締役、番組チーフ・プロデューサーより回答された。

- ・スポンサーについて

『1番組1起業』をコンセプトにしているものの、十分な起業が具現化するまでの成長期間は、広告収入とのハイブリット型で対応していく方針であることが、社長より説明された。

## 2. 「放送番組の編集の基準」改定について

考査部より、4月からの民放連加盟に伴い、従来の「放送番組の編集の基準」の定めのある項目を含め、今後は「日本民間放送連盟 放送基準」を準用するものとする、という記述に改定することを説明し、全審議委員により承認されたため、2023年4月20日をもって改定することになった。

## 3. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）

考査部より1月～3月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に確認された。

## 4. 番組審議

対象番組：ブラマヨ小杉の「走れ！こすっちょ」

#41 総集編（番組開始～2022年振り返り） 2022年12月27日放送

#42 総集編（爆食スペシャル） 2023年1月10日放送

制作を担当した吉本興業株式会社 執行役員 コンテンツ本部長と番組チーフ・プロデューサーから番組概要についての説明を行い、続いて審議委員長の進行により、各審議委員から寄せられた質問、意見にチーフ・プロデューサーが回答を行う形式で番組審議を進めた。

各審議委員からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・大変面白い好きな番組である。

・東京をアピールする番組が少ない中、グルメなどを紹介する企画が東京の地方創生としての役割を果たして良い。

・ブラックマヨネーズ 小杉氏のキャラクターの魅力と、ベテラン芸人としての力量が発揮されていることが番組自体の魅力となっており、BS よしもとらしい番組である。

・他局やスポンサー企業とのコラボレーション、地方との連動など、業種業態の垣根を越えての様々な可能性が広がる新しいモデルケースとなる番組である。

・ランニングとの向き合いの割合をもう少し増やし、地方や路地裏、提案を募集して取り上げた場所などを走るのはいかがでしょうか。

・冒頭部分をもう少し引き付ける効果の高い構成としてはどうか。

・夜の収録の際は、夜間のランニングに対する配慮が必要ではないか。

これらの意見に対し、番組チーフ・プロデューサーより以下のコメントを回答し、各審議委員に理解された。

・夜のランニングについては、今後は細心の注意をはかり、光るステッカーなどを張って対応していきたい。

・番組の冒頭の演出として、ゲストを招いての紹介などで、視聴者を引き付けていきたい。

・ランニングシーンが少ない点については、もうすこし走れるように、タレントの体力や安全を考慮しながらマネジメントしていく。その上で、時々はきちんと走るランナーとしての企画もしっかり取り入れたい。

・視聴者からは、元気が出るとの好反応も寄せられており、コロナ対応も緩和されてきたので、今後は大阪の局での放送も決まったこともあり、大阪を始めとした地方での撮影も視野に入れて、視聴者ともふれ合いながら展開していきたい。

さらに、二次使用展開も試みて番組を広げていきたい。

最後に次回の開催時期を確認後、弊社副社長 泉より、番組を通して地方創生に貢献するような様々な実績を上げることができていることを報告する閉会の挨拶に続き、審議委員長による閉会の辞が述べられ、審議会が終了となった。

#### ■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2023年4月現在

川上和久（委員長／麗澤大学教授）

山田秀雄（副委員長／山田・尾崎法律事務所 弁護士）

大原鶴美（プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表

取締役)

竹中ナミ(ナミねえ) (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長)

以上